

ご存じですか？肺がんの症状

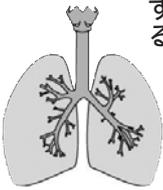
文=荒岡 美穂(保健師)

先 月は羽幌町の健康課題が「がん」と「高血圧」であることをお話しました。では、今月からはそれぞれの病気についてお伝えします。まずは、がん(悪性新生物)です。

羽幌町の死亡原因の1位はがんです。なかでも肺がんの占める割合が最も多く、予防・早期発見が健康向上のうえで重要なカギを握っています。

肺がんは、他のがんに比べて発育が早く転移しやすいがんですので、発見が遅くなるほどがんが大きくなり、治療が難しくなってしまいます。

しかし、肺がんを早い段階で発見・治療した場合の5年生存率は80%。つまり、多くの人が克服できる可能性がある病気でもあります。では、肺がんを早期発見するためにどうすればよいのでしょうか。



実はわかりにくい肺がんの症状

肺がんは、発生する部位や型にもよりますが、初期はほとんど自覚症状がありません。あつたとしても咳やたんなどで「ちよつと風邪ひいたかな?」と思い放っておいてしまいがちです。症状が風邪に似ていることから気づきにくく、がんの発見も遅れることが多いのが現状です。

効果的な予防は検診の活用

初期の症状がわかりにくいがんだからこそ検診をお勧めします。

町が実施している総合健診では、40歳以上の方は肺がん検診を受けることができます。検診の内容は胸部X線写真(レントゲン)を撮るだけで、身体的な負担は少ない検査ですので、ぜひ活用してください。

健康管理のため検診は必ず受けましょう

保健師 荒岡 美穂



検診は病気の早期発見だけでなく、自分の健康を確認できる機会でもあります。今年度も総合健診を次の日程で実施しますので、ぜひ受診してください。

離島地区 | 総合研修センター

- ・平成23年6月21日(火)・・・焼尻
- ・平成23年6月22日(水)・・・天売

市街地区 | すこやか健康センター

- ・平成23年8月5日(金)～7日(日)
- ・平成24年1月21日(土)～22日(日)

※実施前に各家庭にチラシをお配りします。お問い合わせはすこやか健康センター(☎ 62-6020)まで。

また、希望者や肺がんの危険が高い(喫煙指数※が600以上、または最近6カ月以内に血たんが出た)方には、たばこを採る喀たん細胞検査も行っています。

※喫煙指数：一日に吸うたばこの本数×喫煙年数

こんな方は特に気をつけて

たばこを吸う人は、たばこ

を吸わない人に比べて約6倍肺がんになりやすいといわれています。

また、たばこを吸わない人でも、周りの人が吸っているたばこからの煙(副流煙)を吸うこと(受動喫煙)で肺がんになる危険性が高まります。

たばこを吸う人も、そうでない人も積極的に検診を受けるなど早期発見に努めることが大切です。